

af News

平成25年度 研究助成金贈呈式


旭硝子財団は、6月7日午前、関係者列席のもとに経団連ホールにて研究助成金贈呈式を開催しました。田中理事長による開会の挨拶、高橋滋選考委員長による選考経過の説明に続いて、理事長から助成金受領者の方々へ贈呈状が手渡されました。

引続き、袖山禎之・文部科学省研究振興局学術研究助成課長よりご祝辞をいただきました。

最後に、助成金受領者を代表して忍久保洋・名古屋大学教授からご挨拶があり、贈呈式を終え

ました。その後、別会場で懇親パーティーが行われました。

本年度より募集対象を高等専門学校にも広げ、初回として3件が採択されました。国内で新規に採択された助成研究は80件、これに過年度からの継続分23件を合わせ、国内の研究助成総額は2億6,100万円です。

 本年度に新規採択された助成研究については、当財団のホームページ[研究助成→採択一覧]をご参照ください。



受領者代表 坂井先生と田中理事長



忍久保 洋 名古屋大学教授



高専の先生方と田中理事長

2013 旭硝子財団 助成研究発表会

7月29日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、助成期間を終えた研究プロジェクト84件の成果発表、ならびに助成期間中の大型研究プロジェクト17件の中間発表が行われました。発表者をはじめ、現在研究助成を受けている研究者や当財団の選考委員、ご来賓など、多くの関係者にご出席いただきました。

開会にあたり、田中理事長の挨拶に引き続き、高橋滋選考委員長（一橋大学教授）から開催にあたっての趣旨

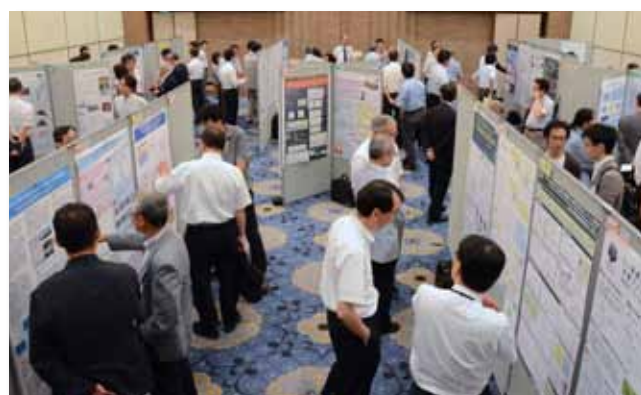
説明が行われました。その後、専門分野ごとに夕方まで3つのセッションに分けて、3分間スピーチとポスターによる研究発表が行われました。

それぞれのポスターの前では、専門分野の異なる研究者が集まって活発な意見交換が行われました。得られた成果についてだけでなく、今後どのような方向に研究を進展させるべきかといったことについて幅広くディスカッションが行われ、新たな学術協同関係が生まれるなど、大変に有意義な場となりました。

発表終了後には同じ会場で懇親会が開かれ、参加者の方々による交歓が行われました。



3分間スピーチ発表会場



ポスター発表会場

海外研究助成金贈呈式ならびに成果発表会

タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校 (KMUTT)

昨年から研究助成を開始したキングモンクット工科大学トンブリ校において、7月3日に2回目の贈呈式と初めての成果発表会が開催されました。Bundit Thipakorn 副学長による選考経過の説明、Sakarindr Bhumiratana 学長と田中理事長からの挨拶に続いて、新規助成対象者6名の研究予定内容の紹介や贈呈状の授与が行われました。その後、昨年の助成対象者3名の研究成果が発表されました。



Sakarindr 学長による挨拶



贈呈式会場にて Sakarindr 学長、田中理事長と助成金受領者

タイ・チュラロンコン大学 (CU)



贈呈式会場にて Pirom 学長，田中理事長，助成金受領者と関係者

7月2日、チュラロンコン大学 Chamchuri 4 Building にて、研究助成金贈呈式と成果発表会が開催されました。田中理事長と Pirom 学長からの挨拶に続いて、今年度の助成対象者 10 名に贈呈状の授与が行われ、続いて 2013 年から 3 年間の研究助成実施についての覚書が取り交わされました。セミナーでは、Kamthorn Pruksananonda 教授による胚盤胞から作成したヒト幹細胞に関する記念講演に引き続き、3つのセッションに会場を分けて、合計 12 件の研究成果が発表されました。



Pirom 学長と田中理事長による MOU の取交し



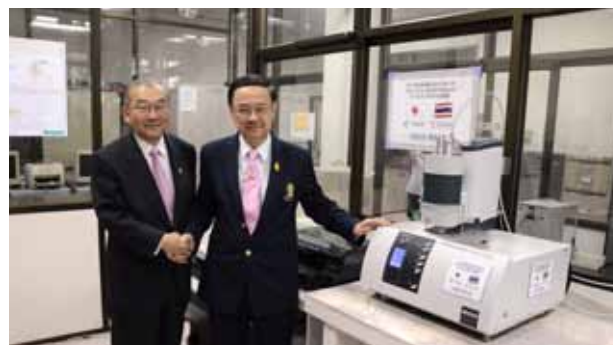
セミナーでの発表

<旭硝子財団から CU への 30 周年記念品の贈呈>

チュラロンコン大学への研究助成は 1982 年に始まり、2012 年で 30 周年を迎え、今年で第 31 回目の贈呈となりました。これを記念して、旭硝子財団は幅広く学内で使って頂ける研究設備として、ドイツ Netzsch 社製 STA4449F3 型熱分析計を寄贈しました。本装置は本年 3 月に Scientific and Technological Research Equipment Centre に設置され、稼働中です。7 月 2 日の田中理事長の訪問を機会に、贈呈のセレモニーが行われました。



記念品贈呈式 (Pirom 学長と田中理事長，関係者)



寄贈された熱分析計

インドネシア・バンドン工科大学 (ITB)

6月28日、バンドン工科大学の講堂において、研究助成金贈呈式と成果発表会が開催されました。学長の Akhmaloka 教授、田中理事長の挨拶に続いて、助成対象者 16 名に贈呈状が授与されました。Akhmaloka 学長と田中理事長との間で 2013 年から 3 年間の研究助成実施についての覚書が取り交わされました。引き続き、研究期間を終了した 15 件のプロジェクトの研究成果発表が行われました。



田中理事長による贈呈状の授与



助成金受領者と Akhmaloka 学長、田中理事長



研究成果発表会でのプレゼンテーション



Akhmaloka 学長と田中理事長による MOU の取交し



Akhmaloka 学長による挨拶

<ガネシャ・ウィルヤ・ジャサ・アディウタマ賞の受賞>

旭硝子財団から ITB への 25 年間にわたる研究助成活動に対し、Akhmaloka 学長名でガネシャ・ウィルヤ・ジャサ・アディウタマ賞が贈呈されました。7月3日、古川事務局次長が Akhmaloka 学長より書状と記念品を拝受しました。





第22回ブループラネット賞 受賞者記者発表

6月18日、田中理事長、林良博選考委員長、鮫島専務理事が出席し、経団連会館において第22回地球環境国際賞「ブループラネット賞」の受賞者記者発表を行いました。本年度の受賞者は日本の松野太郎博士と、米国のダニエル・スパーリング博士です。受賞者の詳細は、巻末並びに財団ホームページをご覧ください。

世界中のノミネーターから受賞候補者の推薦を受け、選考委員会での審査、顕彰委員会での審議を経て、本年4月の理事会・評議員会で受賞者が決定されました。



海外での広報活動

旭硝子財団およびその事業活動をより広く海外でも知ってもらうため、昨年に引き続き、今年も海外で開催された国際会議でのブース出展や、ポスター展示、資料配布を行うなど広報活動を展開しました。

3月にドイツのフライブルグで開催された2nd International Convention of Environmental Laureates (ICEL) ではブループラネット賞歴代受賞者共同論文などの資料を配布、4月にはインドで開催された South Asian Cities Summit (SACS) 2013 で地球環境アンケートに関するポスターの展示とアンケート報告書等の配布を行い、アンケート回答者の拡大に努めました。6月にはオーストラリアのブリスベンで開催された Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) の The 10th Annual Meeting でブースを出展しました。AOGS ではアジア大洋州はもとより欧州、米国からの参加者に対して、ブループラネット賞を紹介すると共に、候補者推薦の協力をお願いしました。

3月：ICEL



4月：SACS



6月：AOGS 財団ブース

<ヨミウリ・ジュニア・プレスによる環境危機時計®の取材>



安田事務局長からアンケート説明を聞くヨミウリ・ジュニア・プレス記者

6月6日、高校生2名と中学生1名のヨミウリ・ジュニア・プレスの記者を財団に迎え、環境危機時計®についての取材を受けました。安田事務局長による地球環境アンケートについての説明を、熱心にメモをとりながら聞いていたジュニア記者からは、多くの質問がありました。

取材の内容は、6月15日の読売新聞夕刊に掲載されました。記事の最後は、「1人でできる環境対策は限られていますが、たくさんの方がアクションを起こせば時計の針は戻るでしょう。夏は打ち水をして、クーラーの設定温度を上げるなど、私たちがなりのエコ活動をしたと思います。」としめくくられています。

第22回ブループラネット賞 受賞者紹介

松野太郎博士(日本)

海洋研究開発機構
地球環境変動領域
特任上席研究員



【受賞理由】

気候科学の研究における業績、特に地球シミュレータを用いた気候変動予測の研究に優れたリーダーシップを発揮し、地球温暖化と気候変動の解明に貢献した。また、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)や世界気象機関等における国際的な活動に参加し、気候変動による世界への重大な影響について各国政府や社会における認識を深めるのに貢献した。

ダニエル・スパーリング博士(米国)

カリフォルニア大学
デービス校教授



【受賞理由】

交通輸送が環境に与える影響について、車両技術、燃料、人間の行動様式の観点から研究を進め、従来にも増して高効率で低炭素、そして環境の観点からも優位性のある輸送システムを構築するための新たな研究分野を開拓した。また、日本や世界中の自動車会社他の技術に影響を与え、持続可能な都市交通輸送や土地利用のモデルとなっているカリフォルニア州の気候変動・大気汚染政策の立案に主体的な役割を果たした政策リーダーである。

第22回ブループラネット賞 表彰式典 ならびに 受賞者記念講演会

第22回受賞者を迎え、10月30日(水)に表彰式典をパレスホテル東京で開催いたします。

翌31日(木)には、受賞者記念講演会を国際連合大学ウ・タント国際会議場で開催いたします。

講演会へのご参加を希望の方は、9月27日(金)までに財団ホームページの申込みフォームよりお申込みください。当選者には参加証ハガキ(10月18日頃発送予定)をお送りいたします。

A Better Future for the Planet Earth Vol. IV が刊行されました

ブループラネット賞設立後、5年毎に英文で刊行している *A Better Future for the Planet Earth* の Vol. IV を8月に刊行しました。受賞者のエッセイ、記念講演録および著作リストを掲載しております(和文では刊行していません)。Vol. IV では、これまでの書籍版に加え、Vol. I から IV までの書籍の内容を収録したDVD版も作成しました。また、DVD版では受賞者記念講演会の動画(2009年分から)もご覧いただけます。

公益財団法人 旭硝子財団

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-3
サイエンスプラザ 2階
TEL (03) 5275-0620 FAX (03) 5275-0871
URL <http://www.af-info.or.jp>
E-MAIL post@af-info.or.jp



書籍版

DVD版